

はっとり
服部のりふみ

後援会事務所（自宅）

〒509-7401 恵那市岩村町飯羽間 3126 番地

TEL/FAX 0573-43-3835

HP <http://ccm.enat.jp> E-mail norifumi@ccm.enat.jp

日々の活動は、Facebookをご覧ください！

<https://www.facebook.com/hattori.norifumi/>

猛暑が続くなか、7月30日に臨時議会が開催されました。その内容は、恵那南地区の中学校統合に関するもので、学校名が学校統合準備会総会にて「恵那南中学校」に決定され、そして第8回恵那市教育委員会定例会において新中学校名を可決されたことを受けて、学校設置条例の一部改正と校舎増築の支障となる部室等の解体工事費や学校周辺道路の整備で1億3,560万円の補正予算が上程されました。

学校校舎増築の実設計は間もなく完了し、9月議会にはその予算が上程される見込みであり、令和8年4月開校に向け予定通り事業が進められています。



第4回議会臨時会の内容

7月30日 議会本会議（議案上程）

総務文教委員会

経済建設委員会

議会本会議（採決）

条例の一部改正 1 件、一般会計補正予算 1 件が上程され、それぞれ所管の常任委員会へ付託されました。

条例の一部改正 1 件、補正予算（所管部分）1 件が承認されました。

補正予算（所管部分）1 件が承認されました。

常任委員会に付託されていた 2 件が委員長報告のもと、一件ごと審議され本会議において可決されました。

※いずれも賛成しました。詳細は、後日議会事務局から発行される「議会だより」をご覧ください。

恵那南地区中学校の統合について

恵那南地区の中学校統合に関しては、先の議員活動報告でも私の考え方などをお知らせしたところですが、岩村地区での「岩邑中学校を残す会」の運動のひとつである請願に対しては、6月議会において審議の結果、不採択という結果でありました。

これまでの動きで特に危惧していることは、このままでは岩村は恵那市の一員ではなくなり、孤立してしまうのではと考えていますので、以下の考えを十分理解いただき恵那市を牽引する岩村となれるよう、この難関を乗り越えて行きたいと考えています。

～新政会「柘植孝彦議員の請願に対する反対討論」から抜粋～

・・・（前書き省略）

今までの検討経緯を検証する中で、それぞれの委員会の結論として一貫している事は、南地区中学校は1校に統合し平等性を考えた場所の山岡町という事です。10年以上の長い期間を経て、1校統合の結論に至っていることをしっかり理解いただきたいと思います。

また、請願にある岩村町が歴史と文化の町という事はだれも否定はしません。ただ山岡町では、市町村合併前の昭和51年には「教育のまち宣言」を、更に平成8年には新教育のまち宣言をされ「親子学園」を推進される中で内閣総理大臣賞のふるさとづくり賞を平成14年に受賞されるなど、岩村だけが教育に熱心という認識は、こうしたほかの地域のことをよく理解した上でのことであればよいが、余りにも一方的で他の地域への配慮が足りません。

住民合意ができていない、これは見直し請願を出された方みんなの思いであるとのことですが、令和8年4月開校に向けて実施設計等の事業が進行しているこの時期での岩邑中学校を統合せずに残して欲しいという請願はとも聞き入れられるものではなく不採択とすべきものと考えます。

私は、新恵那市が発足し20年を迎える中で、今回の請願のような思いを持たれている方がみえるという事に驚くと共に残念な気持ちになりました。しかし、これが岩村町地域の総意ではないと思います。岩村町は観光分野で「NEXT GIFU HERITAGE～岐阜未来遺産～」に認定され着実に観光施策の展開をされています。

また、旧岩村振興事務所に佐藤一斎顕彰施設整備計画など素晴らしい事業が展開されています。そんな岩村の皆さんがこの統合課題を乗り越え、南地区が纏まり一つの地域となり未来志向で前向きに捉えることで恵那市において一番の町となるように発展されることを願い討論とします。

議会を終えて

今回の議会でも、共産党は二つの議案について反対されました。共産党として「病院・学校の統廃合を止め、住み続けられる地域に」との主張が聞き入れられるまで反対し続けるというのは、この段階に至ってもいかがなものかなと思います。

残り2年を切り準備委員会でも多くの検討事項が決まりつつある中で、建設的な意見ならまだしも根本的な部分でいつまでも水を差すようなことは、もう止めていただきたいものです。子供達の健全な育成を願い、適正規模に近づける教育環境を整えることが最も重要であると考えますので、皆様のご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。

次号は、9月議会終了後に発行する予定です。皆様のご意見や感想をお聞かせください。